令和3年第7回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	令和3年7月13日（火）午前9時30分					
開 会 場 所	市役所第二庁舎 2階 第1会議室A					
開会の日時・宣告者	令和3年7月13日（火）午前9時30分				山西 実	
閉会の日時・宣告者	令和3年7月13日（火）午前11時50分				山西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教 育 委 員	岩 崎 万 紀 子	出席
	職 務 代 理 者	会 田 研 司	出席	教 育 委 員	高 島 勝 也	出席
	教 育 委 員	尾 島 紗 緒 里	出席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出席
傍聴人：0人				書 記：大竹 孝典・河口 奈緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	木 村 卓 朗				
	総 務 課 長	服 部 道 春				
	指 導 課 長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	百 瀬 修				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前9時30分</p> <p>日程第1 前回会議録の承認</p> <p>日程第2 協議事項 「GIGAスクール構想の現状」</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>教育長 令和3年第6回教育委員会定例会の内容について質問を求める。 ≪質疑≫ 質疑なし。 ≪承認≫ 全員異議なく承認。</p> <p>学校教育課長 「GIGAスクール構想の現状」について、資料により説明する。 ≪質疑≫ 藤沼委員 2点伺う。 1点目は、学校ICT検討委員会を今年度2回開催したとの報告があったが、課題の提言はあったのか。 2点目は、文部科学省がGIGAスクール構想のガイドライン等を示しているが、検討委員会の委員はこれらを読み込んでいるのか。</p> <p>学校教育課長 1点目の課題の提言だが、例えばタブレット端末からプロジェクターへの投影方法など運用面についての課題や、設備面での課題について、提言があった。 なお、学校ICT検討委員会では、これらの課題解決に向けた情報収集のため、夏季休業期間中に先進自治体を視察する予定である。 2点目のGIGAスクール構想のガイドライン等だが、先日、教育委員の皆様にお示しした「豊かな学びを推進する幸手市GIGAスクール構想 元年度グランドデザイン」の策定に当たり、ガイドライン等を熟読したうえで作成し、検討委員全体で共有している。</p>

藤沼委員

今後も現場の教員から様々な課題が出てくると思うが、教育を更に良くしていこうという思いから出てくる課題なので、どんな課題であっても否定せず、必ず皆で議論して検討いただきたい。

極端な事例かもしれないが、例えば現在のアナログな農業は今後通用しなくなり、無人運転等を活用したデジタルな農業に変わってくると思う。デジタルな農業を運営するためには、統計学や経営学など、今までと少し違った教育が必要になってくると思う。

G I G A スクール構想による学びの革新は、将来の様々な業種の発展にプラスになると思う。日本が世界のトップに立つためにも、そういう視点で教育を進めていただきたい。

岩崎委員

5点お話ししたい。

1点目は、タブレット端末用学習ソフトの無償トライアルについて報告があったが、有償で導入する予算は確保されているのか。また、導入時期について伺う。

2点目は、市のホームページに掲載されている「さってオンラインスクール」の更新日が小学校と中学校で異なっていたが、その理由を伺う。

3点目は、タブレット端末の活用報告の写真の中で、学校によって保護カバーを着けている学校とそうでない学校があるが、学校によって取扱いが異なるのか。

4点目は、以前の報告の中で、職員室ではWi-Fiが使えないとの報告があった気がするが、職員室でオンライン授業研修会を開催している学校は、学校が独自に整備したのか。

5点目は、先進自治体の視察について、もう少し説明していただきたい。

総務課長

1点目のタブレット端末用学習ソフトについては、来年度からの導入を検討しており、今年度中に債務負担行為の要求をするか、来年度当初予算への計上を検討している。予算化できるよう取り組んでまいりたい。

岩崎委員

無償トライアル終了後も引き続き使用できるよう頑張

っていただきたい。

総務課長

4点目の職員室のWi-Fi環境だが、昨年度、国の補助金を活用してGIGAスクール構想に対応した校内ネットワーク環境を整備するに当たり、授業で活用する場所のみが補助対象であったことから、職員室については市の一般財源で整備したものであり、全校の職員室に整備済みである。

学校教育課長

2点目の更新日の違いだが、「幸手市GIGAスクールのページ」に「さってオンラインスクール」のリンクを作成した日が若干異なることによる違いである。なお、更新は学校教育課の職員が担当している。

3点目のタブレット端末保護カバーの着用状況だが、学校には原則、着用するよう指導している。しかし、端末の活用形態によっては、保護カバーが邪魔になることがあるので、一時的に外して活用している場面の写真かと思う。

5点目の先進自治体の視察だが、学校ICT検討委員会の委員のうち、校長会代表である長倉小学校の窪田校長と協議の上、鴻巣市の教育委員会に視察に行くことになっている。

高島委員

GIGAスクール構想とは、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を持続的に実現させる構想である。つまり、子どもたち一人一人のレベルやペースに合った学習を提供することが本来の主旨だと思うので、その点をしっかりと踏まえた教育を行っていただきたい。

また、学習環境のICT化が進んでも、校務の効率化を図るとともに効果的な学習方法を生み出していないと、教員の負担は減らないので、その点の含めて取り組んでいただきたい。

教育長

現在は、タブレット端末を活用してどういった授業ができるかといった、タブレット端末の機能を習熟している段階にある。

しかし、高島委員がおっしゃるとおり、最終的には子ど

もたちの興味・関心や学びのスピードに応じた学習を提供していくことが目的であり、そこに到達していかなければならない。

学校教育課長

校務の効率化については、平成 31 年度に統合型校務支援システムを導入し、通知表や指導要録などを電子化して、教職員の負担軽減に取り組んだところである。

高島委員

成績の評定基準は、学校や教科によってバラバラな場合があるので、少なくとも学校単位で統一された評定基準を定めて評点を入力できるようになると、教員の負担がかなり軽減されると思う。

学校教育課長

現在使用しているシステムは、各校で独自の評定基準を設定できる仕様となっており、校内で公正な評点ができるようにになっている。

尾島委員

2点伺う。

1点目は、市のホームページ上に、児童・生徒及び保護者向けの「タブレットPCご利用の手引き」が掲載されているが、これは児童・生徒や保護者に配布したのか。それとも、各自が市のホームページを参照するようお願いしたのか。

2点目は、同じくホームページに「タブレットを使うときの5つの約束」が掲載されているが、これは各教室にも掲示しているのか。

学校教育課長

1点目の「タブレットPCご利用の手引き」は、昨年度中に児童・生徒を通じて配布済みである。

2点目については、確認できていない。

尾島委員

「タブレットを使うときの5つの約束」は、普段から子どもたちが目に付くところに掲示することで、意識付けに繋がると思う。

教育長

「タブレットを使うときの5つの約束」は、子どもたちが家庭でタブレット端末を使用する際の注意事項を保護者にも周知する目的で作成したことから、教室に掲示す

るのではなく、児童・生徒を通じて保護者に配布したところである。

高島委員

GIGAスクール構想に係る備品や設備等については今回、国の補助を活用して整備できたが、国の施策は数年経つと引き上げてしまい、あとは各自治体で対応するよう方向転換することが多いと思う。数年後に機器等の入替が必要になるかと思うが、その辺も踏まえた構想はあるのか。

総務課長

金額が大きな事業なので、数年後の入替の際にも引き続き国の補助を継続してもらえるよう県を通じて要望しているが、補助が打ち切りとなった場合、市の予算での入替を検討しなければならない。

電算機器については通常、5年での入替が一般的だが、機器が使えるようであればもう1～2年継続使用するとともに、入替の際には買取ではなくリースということになるかと考えている。

高島委員

自治体の財政力によって教育格差が生まれてしまうという懸念がある。

教育長

他の自治体でも同じ懸念があることから、県の教育長会議や教育委員会連合会等からも、最優先事項として要望を出しているところである。

藤沼委員

タブレット端末の画面が少し小さく感じた。入替の際には、子どもたちの意見も踏まえた選定をした方が良いかと思う。

会田職務代理者

夏季休業期間中にタブレット端末を家庭に持ち帰っての活用はあるのか。

学校教育課長

学習支援ソフトの無償トライアルも活用できるので、その辺も踏まえた活用を、校長会を通じて各校に働きかけていきたい。

会田職務代理者

タブレット端末で撮影して植物の観察に活用したり、

インターネットで調べ学習をしたり出来るので、是非、夏季休業期間中も活用していただきたい。

教育長

夏季休業期間中における家庭でのタブレット端末の活用は、子どもたちが個々に、写真を撮ったり、スケッチを描いたり、作文を作成したりと、個別最適な学びをしやすい環境である。

また、夏季休業期間中には登校日を設けているが、酷暑が続いているので、例えば学校に登校するのではなく、タブレット端末を活用して、オンラインで子どもたちの健康観察をするのも一つの在り方だと思う。一部の学校では、そういった準備を進めているところもある。

岩崎委員

夏季休業に入るまでに、全ての家庭がインターネットに接続できるようになるのか。

学校教育課長

ゴールデンウィーク期間中に実施した調査で、まだ環境がないと回答があった家庭に対して追跡調査を行った結果、前回より環境が整った家庭が増えたと聞いている。

なお、環境が無い家庭については、どういった状況で環境が無いのか確認しているところである。

岩崎委員

例えば、公民館などの公共施設に、フリーWi-Fiの環境は無いのか。

学校教育課長

市の社会教育施設にフリーWi-Fiは無い。

岩崎委員

学童保育室にも無いのか。

総務課長

所管外のため正確ではないかもしれないが、学童保育室にWi-Fiを整備するような話は耳にしている。

**日程第3
議 事**

教育長

議案第17号は、現時点で採択結果を公開することが望ましくないことから「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項により、非公開審議とすることに

<p>議案第 15 号 幸手市小・中学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則</p>	<p>ついて諮る。 教育長及び出席委員 全員異議なし。 教育長 非公開を決定する。</p> <p>学校教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 高島委員</p> <p>2020 年 1 月に奈良県教育委員会が小・中学校、高等学校、及び特別支援学校の教員を対象に実施した「先生の働き方調査」によると、1 日の生活リズムの調査のうち、通常の勤務に対して学校に来るのは平均 54 分前、学校を出るのは平均 1 時間 56 分後ということで、勤務時間の 8 時間 30 分を足すと、学校滞在時間は 11 時間 20 分という結果が出ていた。これだけ長時間の滞在となってしまう原因としては、事務・報告書の作成や、授業や学活の準備など多岐に渡るが、減らしたい業務として、①事務・報告書の作成、②会議・打合せ等があげられていたので、その辺の対策が必要だと感じた。</p> <p>また、教職への想いに関する調査で、87%の教員がやりがいを感じているが、若い人に勧めたいかという設問に対し、肯定的な回答は 27%しかないという結果が出ていた。</p> <p>G I G A スクール構想には、校務の効率化も含まれているので、教員の健康を守る為にもこの辺を踏まえた整備が必要だと思う。</p> <p>会田職務代理者 「業務量の適切な管理等」の条文は、文部科学省の通知を踏まえて設定したのか。</p> <p>学校教育課長 文部科学省の通知を受けて埼玉県が県立学校向けに作成したものを参考に設定した。</p> <p>会田職務代理者 小学校では、外国語やプログラミングなど、新しい取組が増える中、人の増員が無いため定時に帰ることが難し</p>
--	---

いと思う。

また、中学校は教科担任制なので、教材研究の負担は小学校に比べると比較的少ないと思うが、部活動の指導で、平日は子どもたちが下校する 18 時 30 分以降から業務に当たったり、中体連の大会があると週末も練習や大会の引率等に当たったりで、業務時間を上限の範囲内に収めることが難しいと思う。

その対策として、独自に部活動のガイドラインを策定して、活動時間の削減に努めないといけないと思うが、幸手市では策定しているのか。

学校教育課長

既に策定しており、各学校でも同ガイドラインを参酌して、各学校に合せたガイドラインを策定済みである。これに基づき 1 週間のうち部活動のない日を 1 日設けたり、土・日のどちらかを休みにしたりするような取組を実施しているところである。

会田職務代理者

幸手市ではガイドラインを示して、教員の働き方改革に取り組んでいるという事で安心したが、部活動の問題については国レベルと取り組まないと、現実的な改革は難しいと思う。

教育長

委員のおっしゃるとおりで、全国大会で上位の成績を目指すところでは、部活動のない日を設けたり、土・日のどちらかを休みにしたりといった取組は行うが、別にクラブチームを設けてそちらで活動するなど、抜け穴的な取組を行っているところもあり、結局は負担軽減に繋がっていない現状もあるようである。

また、教員の勤務時間についても、子どもたちが安全に登下校できているか確認するために出退勤時間を自主的に延長しており、それから教材づくりや報告書作成となると、どうしても退勤時間が 20～21 時になってしまう実態がある。

さらに教員は時間外勤務手当が無いので、仕事にやりがいや誇りはあっても、子どもたちに勧めるかという魅力が無い仕事となっている。

藤沼委員

幸手市で勤務する教員の時間外勤務時間は、どの程度

	<p>なのか。</p> <p>また、勤務時間が原因によるストレス疾患はあるのか。</p> <p>学校教育課長</p> <p>昨年度実施した県の調査結果によると、勤務時間を除く平日の在勤時間が、小学校では1時間から2時間半、中学校では1時間から2時間に満たないぐらいの時間、超過している状況であった。</p> <p>また年間で申し上げますと、1年について360時間という基準に対して小学校は約60%、中学校は26%という結果であった。</p> <p>なお、勤務時間が原因によるストレス疾患という話は現在までのところ聞いていない。今年度から教職員のストレスチェックを実施するので、そういった実態がある場合は把握も可能になるかと思う。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p>議案第16号 幸手市社会教育委員の 委嘱について</p>	<p>社会教育課長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》 なし。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p>議案第17号 令和4年度使用中学校 教科用図書(社会・歴史) の採択について</p>	<p>教育長</p> <p>ここからは、非公開となる旨、宣する。</p> <p>学校教育課長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《非公開議案の審議》 質疑あり。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p> <p>教育長</p> <p>非公開を解除とする旨、宣する。</p>
<p>専決報告第15号 臨時的任用教職員の 内申</p>	<p>学校教育課長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》 なし</p>

林間学校では、新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んでいただいておりますが、依然として全国的に感染者が増加傾向にあるので、引き続き対策に取り組んでいただきたい。

学校教育課長

引き続き、徹底した感染対策に取り組んでいく。

岩崎委員

教育委員会の所管外かと思うが、7月号の広報紙に掲載された生理用品の無償配布のお知らせについて2点、疑問に思ったのでここで述べたい。

1点目は、お知らせに「使用推奨期限を経過していますことをご了承ください。」とあったが、市で管理する備品であれば、期限が切れる前に配布するべきではないかと思った。

2点目は、受け取り方法に「お名前もお聞きしません。」との記載があったが、受け取る方への気遣いとして名前を伺わないといった取組は理解するが、本当に困っている方には、声をかけてあげることが行政本来のあり方ではないかと思った。

厚生労働省が発表している「2019年国民生活基礎調査」によると、17歳以下の子どもの貧困率は13.5%という結果が出ており、これを幸手市の子どもに当てはめると445人の子どもが生活に困窮している計算になる。

学校の調査では、困窮している子どもがそこまでいないとの結果が出ているが、様々な部署でアンテナを張り巡らせて情報収集に当たるとともに、待つのではなく、常に提案する行政であってほしいと思う。

教育部長

所管外なので、正確な回答ではないかもしれないが、1点目の使用推奨期限が経過した生理用品の配布については、防災備蓄用品からの配布ということをご了承いただいた上で配布するものである。なお、使用推奨期限は過ぎているが、使用できるものを配布すると聞いている。

2点目の名前を伺わないという取組は委員のおっしゃるとおり、プライバシーに配慮したものであるかと思う。

なお、配布窓口は人権推進課だが、女性職員が配属されているので、広くアンテナを張り巡らせて、困っている方に手を差し伸べられるような行政となるよう所管部署に

<p>日程第5 その他 1 次回定例会の 日程</p>	<p>情報共有したい。</p> <p>教育長 学校の保健室にも常備されているのか。</p> <p>学校教育課長 保健室に常備している。 また、企業から寄贈いただく場合もあり、林間学校などの行事前に説明をしながら配布するようなこともある。</p> <p>岩崎委員 先程お話した調査で、ひとり親世帯の貧困率は48.1%と、約半数が貧困状態にあるとの結果が出ているが、幸手市の小・中学校のひとり親世帯というのは把握しているのか。</p> <p>学校教育課長 手元に資料が無いので正確な数はお答えできないが、現在、認定作業を行っている就学援助の申請件数は、300件ほど上がってきている状況である。</p> <p>岩崎委員 就学援助制度はありがたいが、必要な時期に必要な支援がされると、非常にありがたいと思う。</p> <p>学校教育課長 義務教育で一番お金がかかるのは入学前だと思う。そこで、就学援助制度では、入学前準備にかかる費用を事前に援助する取組も行っている。</p> <p>岩崎委員 子どもたちが夢や希望を持って、自分のやりたい事にまい進できるような制度や環境を引き続き整備していただきたい。</p> <p>各委員の意見を調整した結果、8月及び9月の定例会については、次のとおり決定する。</p> <p>第8回教育委員会定例会 日時 令和3年8月17日(火) 午前9時30分 場所 市役所第二庁舎 2階 第1会議室A</p>
---	--

<p>ほか特に重要 と認める事項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">令和3年 8月17日</p> <p style="text-align: center;">教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">署 名 委 員 藤 沼 寛 次</p>